

# 第五次長期総合計画後期基本計画策定に向けた アンケート調査結果について

# 目次

<b>1. 市民意識調査</b>	<b>2</b>
1. 1. 実施概要	3
1. 2. 実施結果（抜粋）	4
<b>2. 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）</b>	<b>7</b>
2. 1. 実施概要	8
2. 2. 実施結果（抜粋）	9
<b>3. 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）</b>	<b>11</b>
3. 1. 実施概要	12
3. 2. 実施結果（抜粋）	13
<b>4. 子ども意見の聴取</b>	<b>15</b>
4. 1. 実施概要	16
4. 2. 実施結果（抜粋）	17
<b>5. 市民ワークショップ<sup>°</sup></b>	<b>19</b>
5. 1. 実施概要	20
5. 2. 実施結果（抜粋）	21

# 1. 市民意識調查

# 1. 市民意識調査

## 1. 1. 実施概要

- 市民意識調査の調査目的・概要は以下になります。

### 調査目的

市民の皆様のニーズを的確に捉える必要があるため、市民の皆様の日常生活について「意識」と「行動」の両面から捉え、それらを踏まえて、よりよい計画づくりを行うことを目的として、アンケートを実施しました。

### 調査概要

実施時期 令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

実施対象 令和6年5月の時点で市内にお住まいの18歳以上の方々2,000名を無作為に抽出

有効回収数 384件

1. あなた（回答者）自身について  
2. 武蔵村山市に住んで感じたこと  
3. 市の取組に対する評価と今後への期待について  
4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について

### 調査内容

💡 次頁以降で、市民の市に対する所感や評価を確認するため、「2. 武蔵村山市に住んで感じたこと」及び「3. 市の取組に対する評価と今後への期待について」の項目について、結果を抜粋して掲載しています。

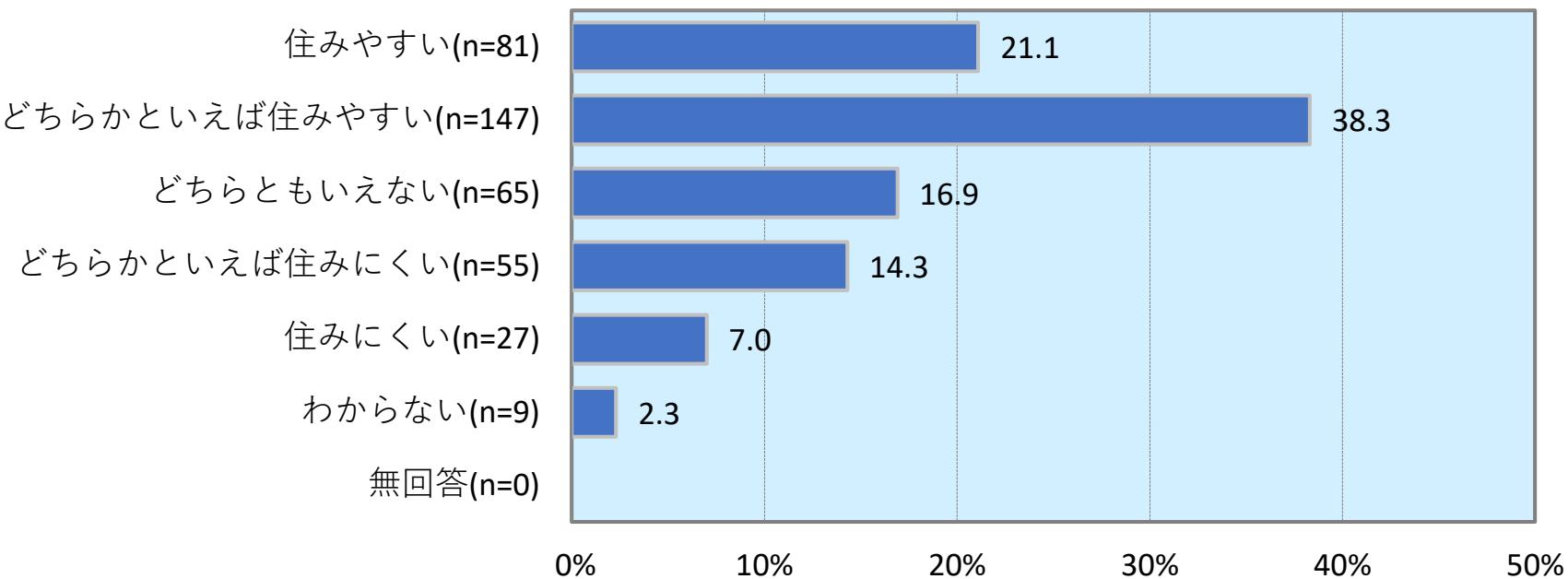
## 1. 市民意識調査

### 1. 2. 実施結果（抜粋）

#### ■住みやすさ

■「どちらかといえば住みやすい」、「住みやすい」、「どちらともいえない」の順で回答が多く挙がりました。

N = 384

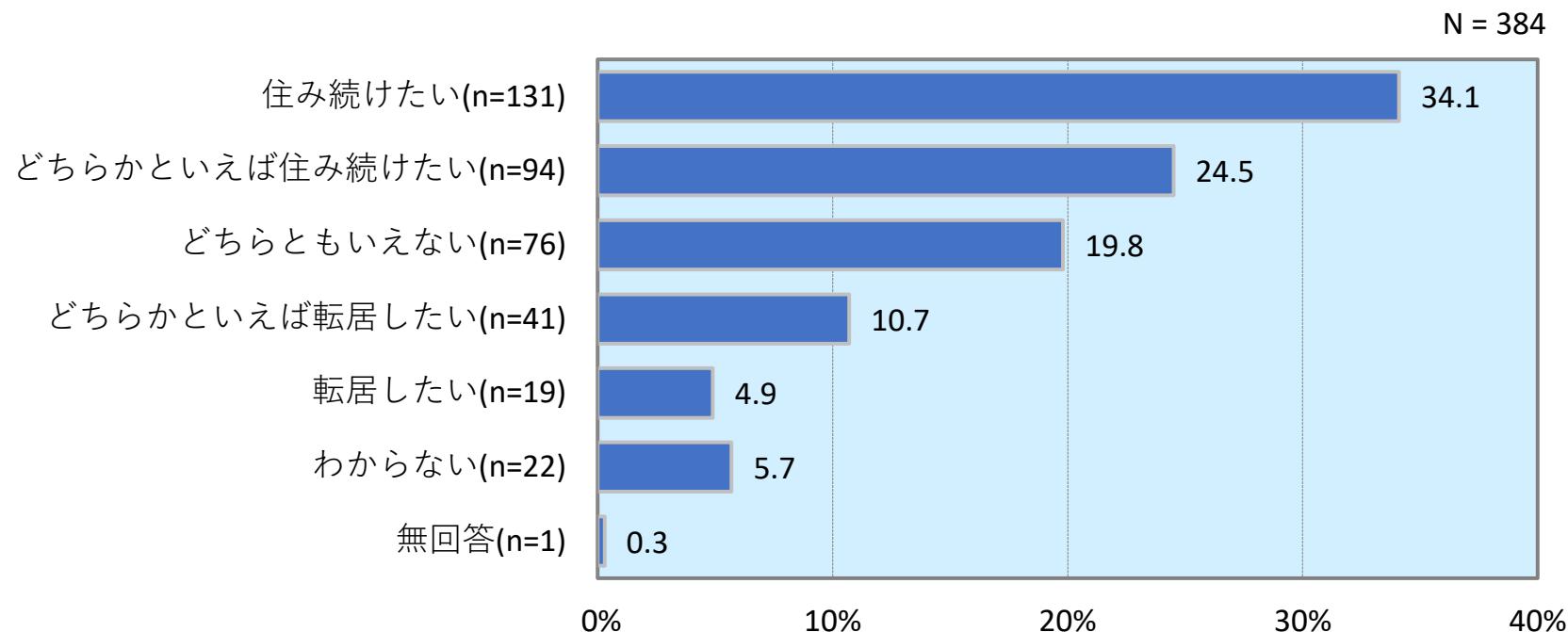


## 1. 市民意識調査

### 1. 2. 実施結果（抜粋）

#### ■住み続けたいか

■「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」の順で回答が多く挙がりました。



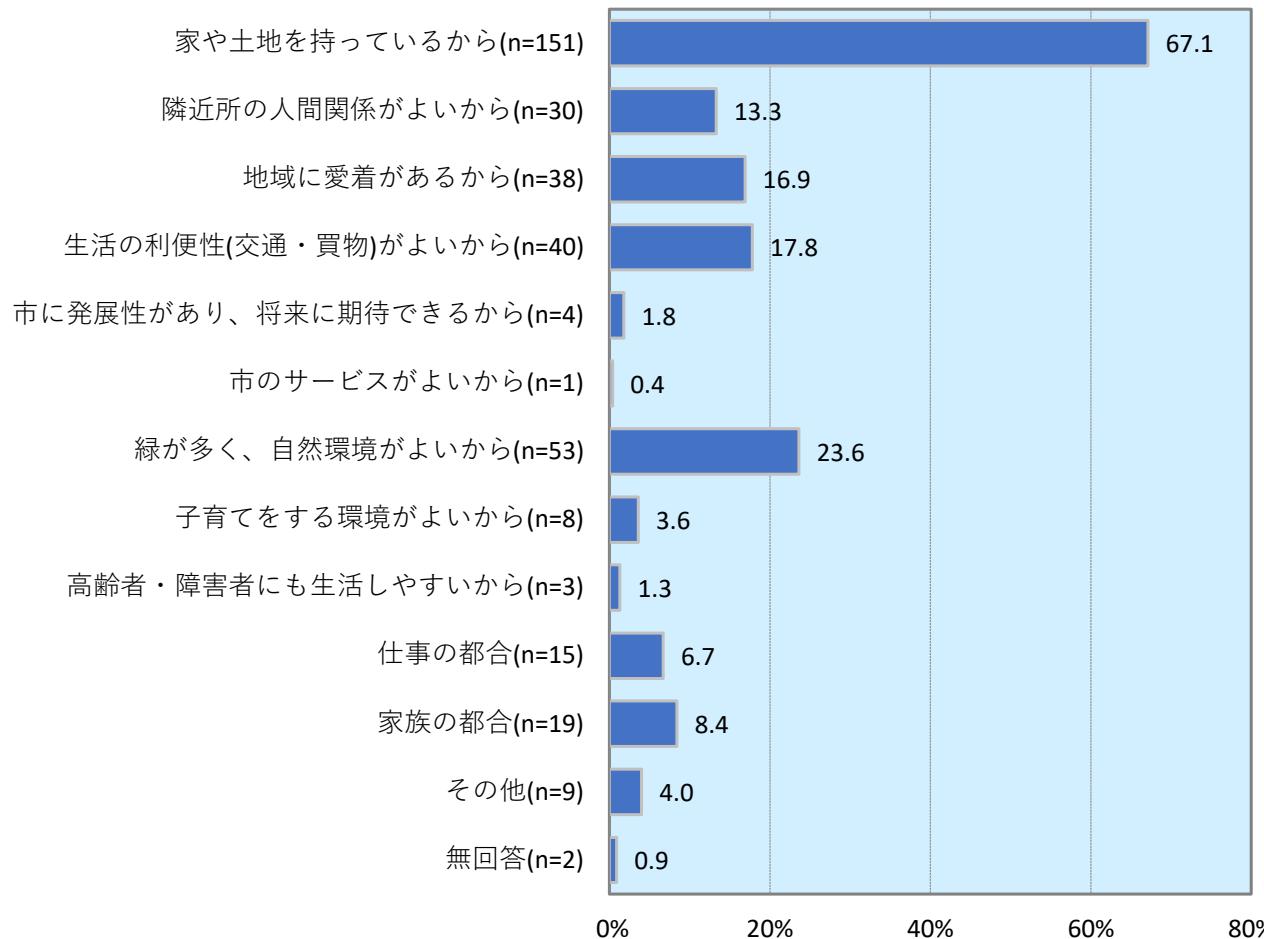
# 1. 市民意識調査

## 1. 2. 実施結果（抜粋）

### ■住み続けたい理由

■「家や土地を持っているから」、「緑が多く、自然環境がよいから」、「生活の利便性(交通・買物)がよいから」の順で回答が多く挙ぎました。

N = 225



## 2. 人口移動に関する意向調査 (転入者意向調査)

## 2. 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

### 2. 1. 実施概要

- 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）の概要は以下になります。

#### 調査目的

本市への転入理由、住みやすさなどについて御意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とすることを目的として、アンケートを実施しました。

#### 調査概要

実施時期 令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

実施対象 令和4年4月1日から令和6年3月31日までに武蔵村山市に転入した方々1,000名（無作為抽出）

有効回収数 137件

#### 主な調査項目

1. あなた（回答者）自身について  
- 性別・年齢・職業・勤務先  
- 転入前後の居住地域  
- 転入前後の住居 など
2. 武蔵村山市への転入理由、市の住みやすさ  
- 転入理由・引越し検討時の候補自治体  
- 将来的に武蔵村山市に住み続けたいか  
- 転出する場合に想定される理由  
- 武蔵村山市に住んで感じていること など



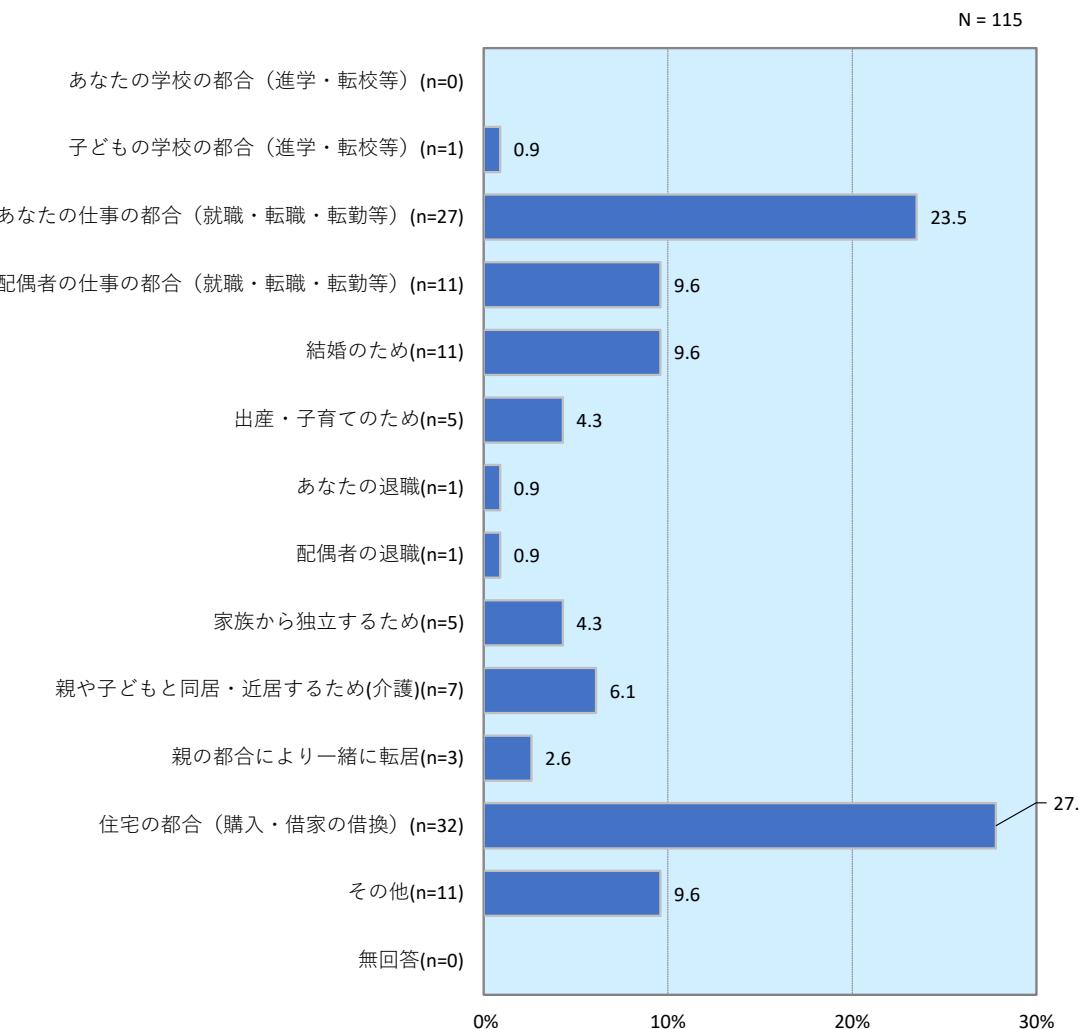
次頁以降で、人口の増加に向けて重要と考えられる「転入理由」及び「将来的に武蔵村山市に住み続けたいか」の項目について、結果を抜粋して掲載しています。

## 2. 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

### 2. 2. 実施結果（抜粋）

#### ■ 転入理由

■「住宅の都合（購入、借家の借換）」、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「結婚のため」の順で回答が多く挙がりました。



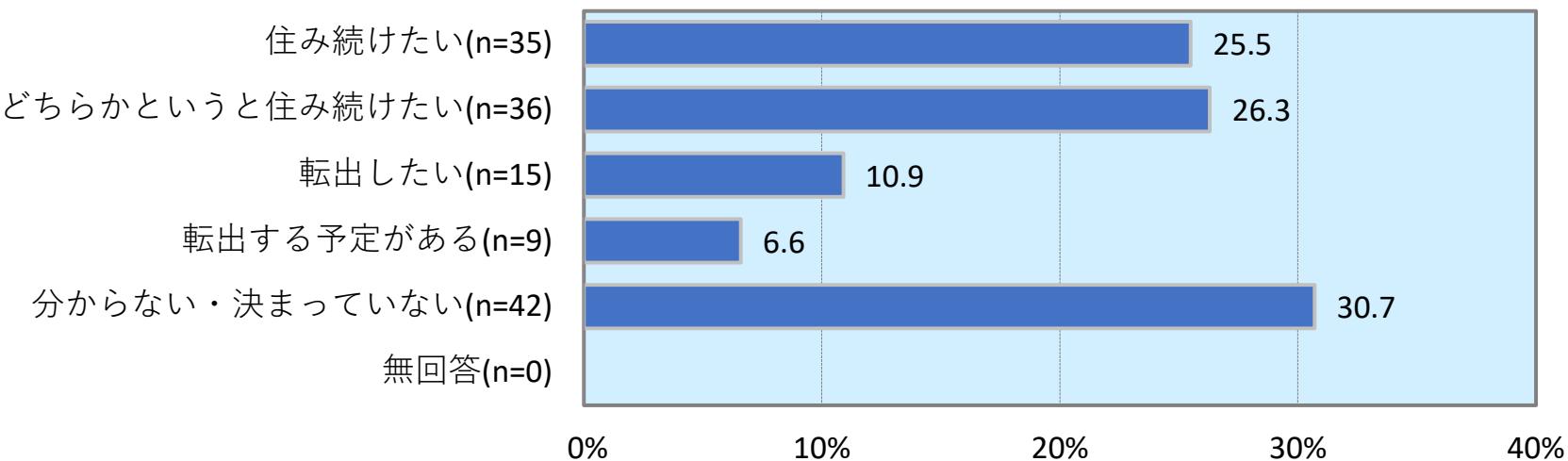
## 2. 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

### 2. 2. 実施結果（抜粋）

#### ■将来的に武蔵村山市に住み続けたいか

■「分からぬ・決まっていない」、「どちらかというと住み続けたい」、「住み続けたい」の順で回答が多く挙がりました。

N = 137



### 3. 人口移動に関する意向調査 (転出者意向調査)

### 3. 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

#### 3. 1. 実施概要

- 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）の調査目的・概要は以下になります。

##### 調査目的

本市からの転出理由、住みやすさなどについて御意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とする目的として、アンケートを実施しました。

##### 実施時期

令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

##### 実施対象

令和4年4月1日から令和6年3月31日までに武蔵村山市から転出した方々1,000名（無作為抽出）

##### 有効回収数

109件

##### 調査概要

##### 1. あなた（回答者）自身について

– 性別・年齢・職業・勤務先

– 転出前後の居住地域

– 転出前後の住居 など

##### 2. 武蔵村山市への転出理由、市の住みやすさ

– 転出理由・引越し検討時の候補自治体

– 転出後の自治体の良い点

– 武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいか

– 武蔵村山市に住んでいた際に感じていたこと など

##### 主な調査項目

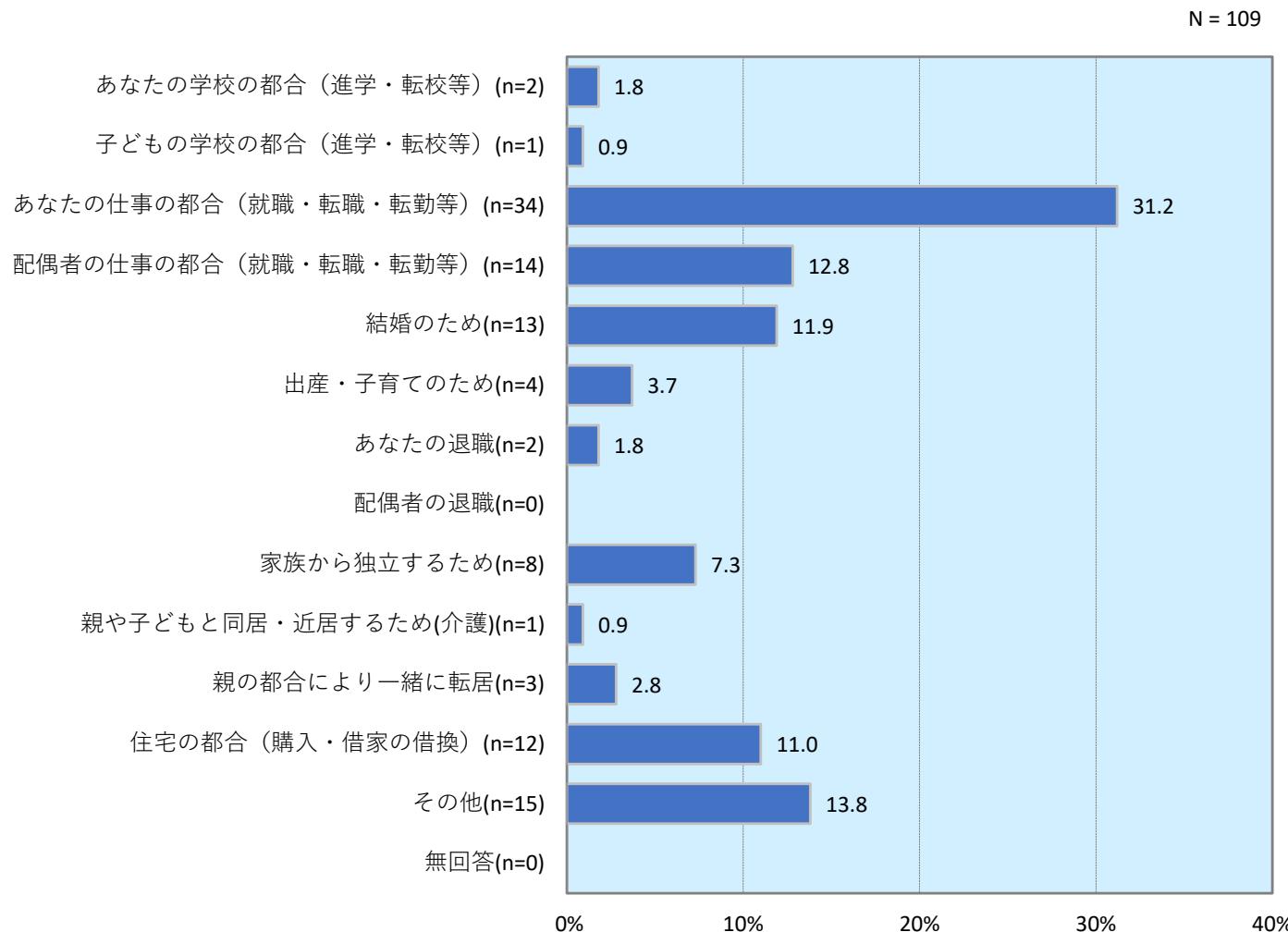
💡 次頁以降で、人口減少の抑制に重要と考えられる「転出理由」及び「どのような街になれば、再び住みたいか」の項目について、結果を抜粋して掲載しています。

### 3. 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

#### 3. 2. 実施結果（抜粋）

##### ■転出理由

■「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「結婚のため」の順で回答が多く挙ぎました。



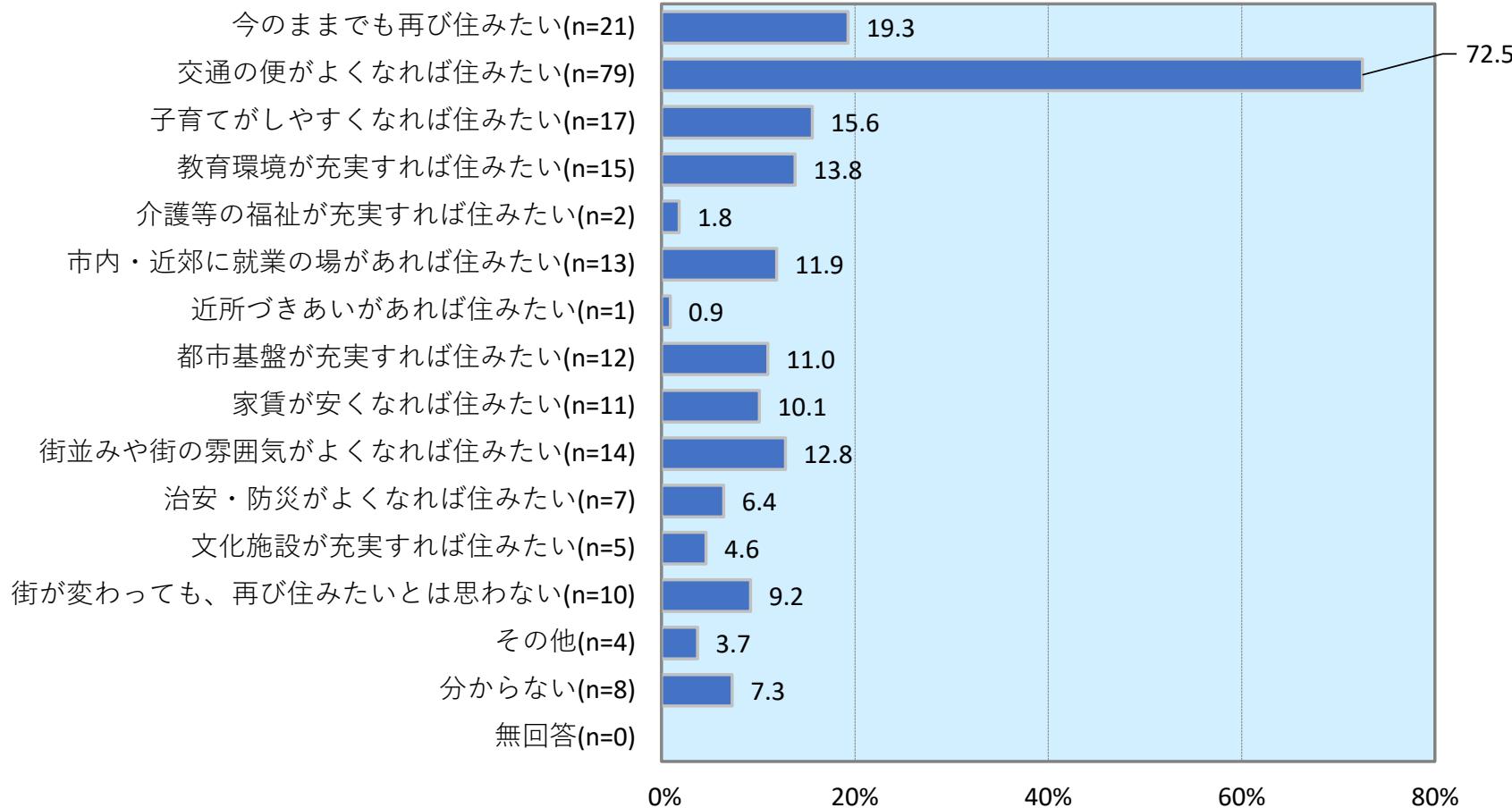
### 3. 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

#### 3. 2. 実施結果（抜粋）

##### ■武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思うか

■「交通の便がよくなれば住みたい」、「今ままでも再び住みたいと思う」、「子育てがしやすくなれば住みたい」の順で回答が多く挙ぎました。

N = 109



## 4. 子ども意見の聴取

## 4. 子ども意見の聴取

### 4. 1. 実施概要

- 子ども意見の聴取の調査目的・概要は以下になります。

#### 調査目的

武蔵村山市立の学校に在学している小・中学生に、市に対するイメージや好きな点、改善してほしい点などについて意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とすることを目的として、アンケートを実施しました。

#### 調査概要

実施時期 令和6年7月8日（月）～7月19日（金）

実施対象 武蔵村山市立の学校に在学している小学校3年生～中学校3年生

有効回収数 965件

#### 主な調査項目

1. あなた（回答者）について（学年・性別・学校）
2. 武蔵村山市について思うこと
  - －武蔵村山市へのイメージ
  - －武蔵村山市の好きな点・改善してほしい点
3. 今後の武蔵村山市について
  - －将来も武蔵村山市に住みたいか
  - －武蔵村山市にどのようなまちになってほしいか
4. 自由意見



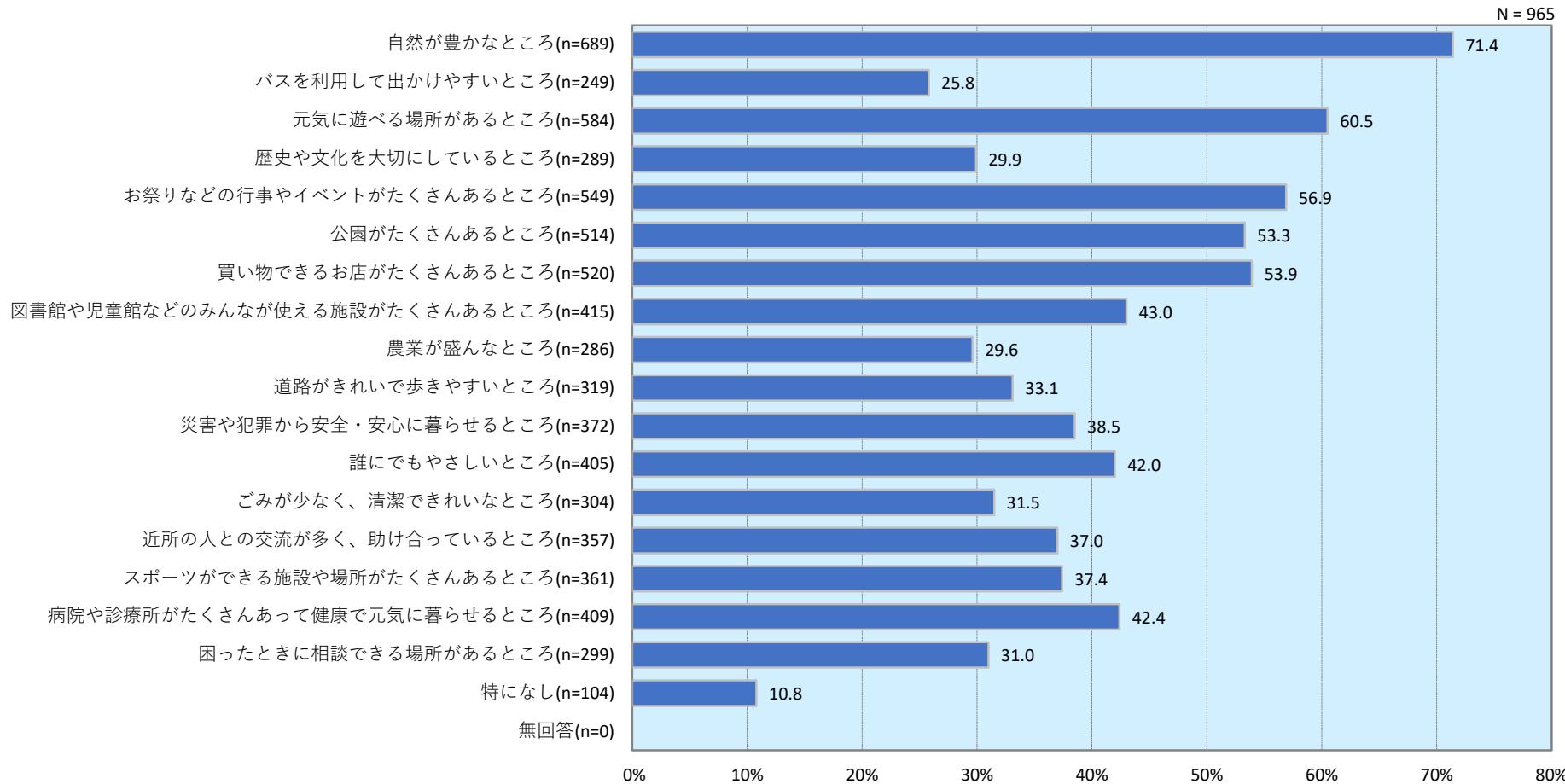
次頁以降で、現在の小・中学生が武蔵村山市に対してどのように思っているか（好きな点・改善してほしい点）についての結果を抜粋して掲載しています。

## 4. 子ども意見の聴取

### 4. 2. 実施結果（抜粋）

#### ■武蔵村山市的好きな点

■「自然が豊かなところ」、「元気に遊べる場所があるところ」、「お祭りなどの行事やイベントがたくさんあるところ」の順で回答が多く挙ぎました。

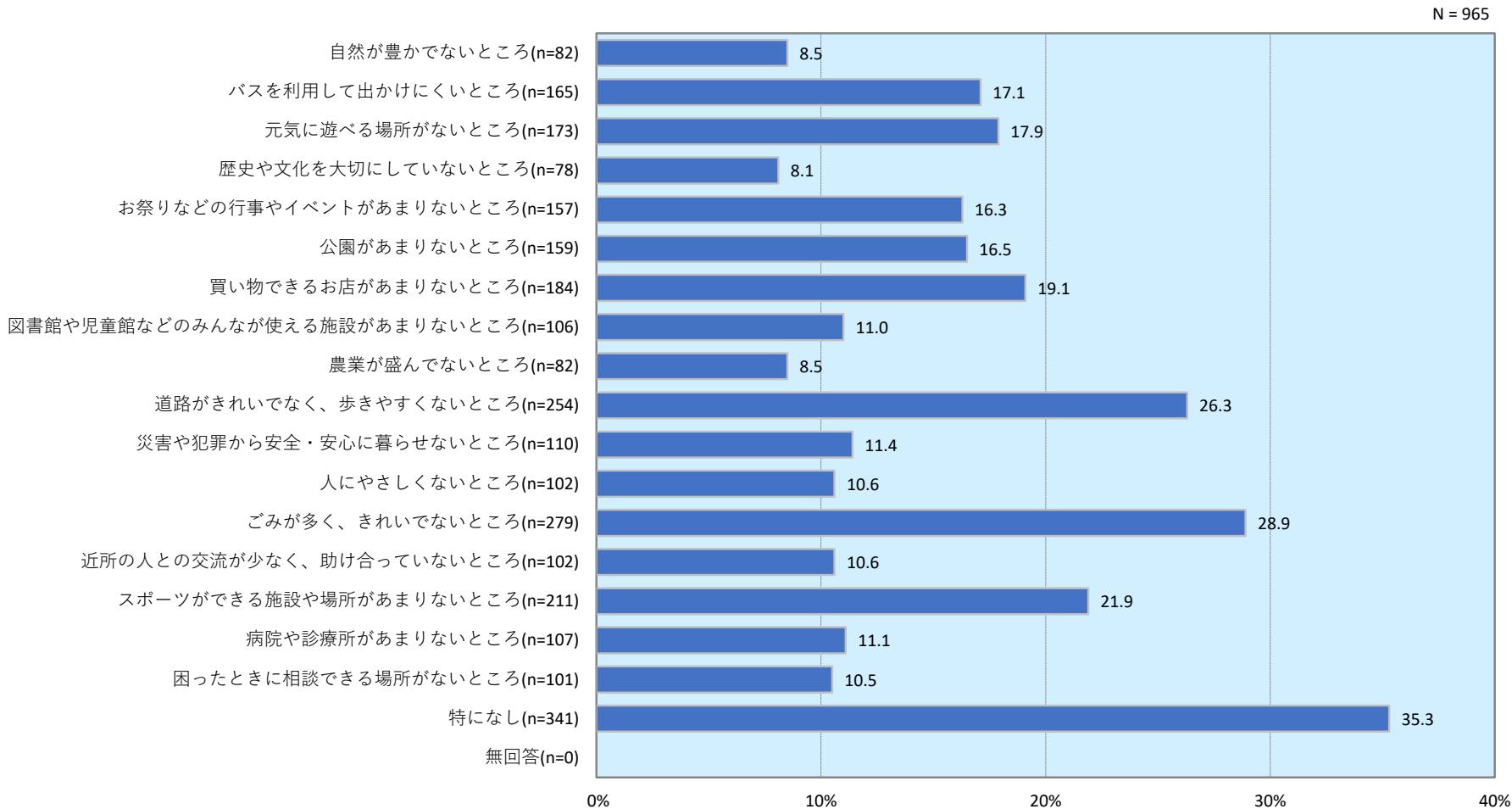


## 4. 子ども意見の聴取

### 4. 2. 実施結果（抜粋）

#### ■武蔵村山市の改善してほしい点

■「特になし」、「ごみが多く、きれいでないところ」、「道路がきれいでなく、歩きやすくないところ」の順で回答が多く挙がりました。



## 5. 市民ワークショップ<sup>°</sup>

## 5. 市民ワークショップ

### 5. 1. 実施概要

- 市民ワークショップの調査目的・概要は以下になります。

#### 調査 目的

「武蔵村山市の課題と理想の未来、課題と理想の未来のギャップを埋める施策について」をテーマに、市民の皆様から武蔵村山市の「現在」や「未来」について御意見をいただくことを目的として、ワークショップを実施しました。

#### 調査 概要

実施時期 令和6年 6月29日（土）

実施対象 武蔵村山市在住の市民

参加者数 6名

## 5. 市民ワークショップ

### 5. 2. 実施結果（抜粋）

■ 武蔵村山市の課題として、「子ども、子育てへの支援の不足」が多く挙げられました。理想の未来は、「子どもや子育て世代が安心・安全に生活できるまち」とした上で、課題と理想の未来のギャップを埋める施策としては、「市民による子どもの見守り・学習支援」や「土日や休日問わず利用できる託児所設立」、「学童クラブ等、子どもが家以外に帰れる場所の創出・充実」等が挙げられました。

#### 市の現状（課題）

子ども、子育ての支援が不足している

#### 課題と理想の未来のギャップを埋める施策

- 市民による子ども見守り支援を行う
- 市民が子どもの学習支援を行う
- 土日や休日問わず子どもを預けられる託児所をつくる
- 子どもが、家以外に帰れる場所（頼れる場所）をつくる
- 学童クラブを充実させる
- 学校の授業内で、外部講師による講演を行う

#### 理想の未来

子どもや子育て世代が安心・安全に生活できるまち

## 5. 市民ワークショップ

### 5. 2. 実施結果（抜粋）

■ 武蔵村山市の課題として、「市民の防災・防犯意識の低さ」も多く挙げられました。理想の未来は、「安心・安全なまち」とした上で、課題と理想の未来のギャップを埋める施策としては、「防犯カメラや非常電話の増設」や「警察によるパトロールの強化」、「防災訓練の定期的な開催」等が挙げられました。

#### 市の現状（課題）

市民の防災・防犯意識の低さ

#### 課題と理想の未来のギャップを埋める施策

##### 【防災】

- 防犯カメラを増設する
- 非常電話を増設する
- 警察のパトロールを活性化させる

##### 【防犯】

- 防災訓練（シミュレーション）を実施する

#### 理想の未来

安心・安全なまち